

ダミープレイヤールール

『勇ヒノ』のプレイ人数は3～4人です。しかし、このダミープレイヤールールを使うことで、プレイヤーが2人でも遊ぶことができますようになります。

ダミープレイヤーを入れて2人で遊ぶ時のルール

- ① 3人用のセッティングを使用し、ルールも3人で遊ぶ時のものに従う。
- ② 最もゲームに慣れているプレイヤーがダミープレイヤーの作業を兼業する。
- ③ ゲーム開始時、ダミープレイヤーは3番手のプレイヤーとなる。
- ④ ゲーム開始時、ダミープレイヤーはリクエストカードを受け取らない。
- ⑤ ゲーム終了時、ダミープレイヤーは得点計算を行わない。

プロットフェイズ

ダミープレイヤーはアクションカードを裏向きでシャフルし、表を見ずに空いている最も若い数字のパターンにプロットする（ランダムプロット）

アクションフェイズ

ダミープレイヤーが手番でどのアクションを行うかは自動的に決定される。次のアクションを上から順番にチェックしていき、実行できるアクションがあればそれを行う。

- ① ダミープレイヤーが手元の素材で装備を獲得できる状態なら、ダイスは戻さず街アクションの「工房」を実行する。
- ② 装備を獲得できないなら、アクションカードに対応したエリアに残っている最も大きいダイスを戻して、資源を獲得する（出目の操作は行わない）
- ③ ダイスを戻せない状態なら、街アクションの「門番」を実行する。
（ダミープレイヤーは素材が5個以上ある状態でも、「門番」のアクションによって素材が減らされることはない）

工房フェイズ

ダミープレイヤーの手元にある素材で、獲得できる装備カードとアーティストカードの組み合わせが複数ある場合、より上位のシリーズから獲得する。そのシリーズに複数の装備カードが置かれている場合、装備できる中で最も新しく置かれた装備カードを獲得する。

ダミープレイヤーが装備を獲得した時、新たなアクションカードを入手しない。ゲーム終了時までアクションカードは3枚のままである。